



- 1 開催日 令和3年6月1日(火)
- 2 開会及び
閉会の時刻 午前10時00分開会 午前12時00分閉会
- 3 開催場所 仙台市役所教育局第1会議室
- 4 出席委員氏名 阿部哲也委員, 小形美樹委員, 加茂光孝委員, 庄司弘美委員,
高橋満委員, 高山典子委員, 野原昌之委員, 広瀬剛史委員
松本由男委員
- 5 事務局職員 筒井生涯学習部長, 木田生涯学習支援センター長, 田中生涯学習課長,
勢藤生涯学習課主幹, 須藤生涯学習課企画係長, 生涯学習課企画係松
田主事
- 6 会議の次第
 - (1) 開会
 - (2) 挨拶 高橋委員長
福田教育長
 - (3) 協議事項
 - ①答申書素案の協議
 - ②その他
 - (4) その他
 - (5) 閉会

7 会議の概要

(1) 協議事項

①答申書素案の協議

- 委員長より、会議資料内容の概要についての説明と、協議事項の概要について説明がなされた。
- 協議はグループワークを中心に行った。各グループの話し合いの内容については以下のとおり。

<障害のある方の生涯学習について>

- ・一旦各委員に執筆頂いたが、書き足しの検討や、バランス調整も行っていくことが望ましい。
- ・学生時代からの健常者との共同学習について言及してみてはどうか。
- ・市民センターの職員や市民が共に学べるような講座があれば良いのではないか。
- ・社会教育施設関係職員の研修だけではなく、「人材」「ボランティア」の育成についても言及してみてはどうか。
- ・社会教育施設の設備について、それぞれの施設内でスムーズに動ける体制を検討

してみてもどうか。

- ・支援学校が、社会教育の役割をどう担っていくかについて再度検討して書き足してみてもどうか。
- ・広報や情報提供について、県や他市町村との連携への言及を書き足し検討したい。
- ・全体確認をして、昨年調査した内容で付け加えたい内容があれば、執筆担当者へ個別に声がけしながら進める。
- ・ICT活用への言及も検討したい。活用が進めば、移動面や柔軟な対応への足掛かりになってくるのではないか。

<貧困のなかにある方の生涯学習について>

- ・「4(2)③学校・福祉施設との連携と協力」については、学びの分野で出来得る、家族や保護者、支援者への支援の加筆が必要だと感じている。
- ・具体的な指導員像まで加筆すべきかとも思っているが、どこまで踏み込んで書けばよいのか迷うところがあった。また、組織体制については確認しながら加筆したほうがよいと考えている。
- ・市民センターだけではなく、他社会教育施設や他組織の学習項目について考えていく必要がある。
- ・支援団体の連携では、どのような団体があるのか調査し、まとめるところから行う必要がある。行政内で横断的な連携ができるような組織体制ができれば、提案のデザインも見えてくる。
- ・市民センターにおける研修やワークショップなど、社会教育施設の活用とボランティアの育成など仙台市の強みでもある「市民協働」をキーワードとして書いている。
- ・諮問答申ではあるが、貧困というテーマは、デリケートなものであり、立ち入るには限界がある。この答申を通して、「貧困」への問題意識や課題意識を市民に持ってもらうことができればよいのではないか。
- ・「学習」面からの直接的解決だけではなく、相談や情報収集ができる場、子どもの遊び場になるような場を提供することは社会教育としてできることなのではないか。
- ・情報収集については、自己肯定感が低いために出来ていないこともある。「これなら自分も分かる」という成功体験の機会を作ることが生涯学習の分野として出来ることかもしれないが、まずはそういった場をつくる人材の育成や、ボランティアの育成について言及してみてもどうか。
- ・「支援団体」と、支援団体に「つなぐ団体」がどちらも必要だが、「つなぐ」人材をどう広げていくかということについては再度検討してみたい。
- ・「負の連鎖を断ち切る」ということがキーワードになるだろう。義務教育が終わったあと、自己肯定感を持って負の連鎖を断ち切るような仕組み（学び）ができるとよい。

<まとめ>

- ・今回議論した内容、及び高橋委員長から当日配布された「提言における施策・取り組みの内容」を参考に、各グループでリーダーを中心として執筆作業を進める。各グループでの作業後は、正副委員長及び各グループリーダーで内容の全体確認、調整のうえ、次回8月3日の会議では修正された答申素案内容について議論を行うこととした。

- ②その他
- 特になし

- 8 その他
- 特になし

「仙台市社会教育委員の会議実施要領」第4条及び第5条に基づき会議録を作成し、同要領第6条に基づき委員長及び会議録署名人が署名押印する。

令和 3 年 7 月 6 日

委員長

高橋 満

会議録署名人

広瀬 剛史